

たばこのポイ捨てやめて！国東たばこ販売協同組合が美化活動

国東たばこ販売協同組合（田中諭理事長）の皆さんが、市内3カ所で清掃美化活動に取り組みました。同組合では、毎年10月に喫煙マナーの向上や環境美化を呼びかけながら美化活動に取り組んでいます。

10月10日（金）にアストくにさき周辺、15日（水）に安岐町商工会周辺、20日（月）に国見総合支所周辺の国道や商店街で実施され、参加者の皆さんが、喫煙マナーの向上を呼びかけながら、道路に捨てられているたばこの吸殻・紙くずなどのごみを拾いました。

清掃活動を行う国東たばこ販売協同組合国見地区の皆さん（10月20日（月））▶



牧泰正さんが自作の書を寄贈

武蔵町古市の書道家牧泰^{たいとう}濤（本名牧泰正）さん（71）から、国東市に自筆の書「友情」を寄贈していただきました。

この「友情」には、チャレンジ！おおいた国体が国東市で開催されるにあたり、国東市に集う市民や他市町村の皆さんが、国体を通じて友情や思い出を作ってほしいとの牧さんの願いが込められています。

作品は、190cm×370cmで、現在アストくにさきのロビーに展示されています。



▲牧泰^{たいとう}濤さん



▲アストくにさきロビーに展示されている「友情」

小さな親切運動国東支部が車椅子を寄贈

「小さな親切」運動国東支部（都留俊一郎支部長）から、市特別養護老人ホーム姫見苑と市教育委員会に車椅子が寄贈されました。これは「小さな親切」運動本部が、全国に寄贈しているもので、国東支部には今年度は2台が贈られています。

車椅子は、姫見苑では入所の方が利用し、教育委員会では、市内の小・中・高等学校で福祉体験や人権教育に活用することになっています。



（左から）都留支部長から姫見苑の芹川浩一苑長に車椅子が贈られました▲

“日本一きれいな空港、ホーバーのあるまちをめざして” 安岐町下原大区区長会が 清掃活動

おもてなしの心で、チャレンジ！おおいた国体を成功させようと、安岐町下原大区区長会（大区長・吉水正明下原上区長）の皆さんが、大分空港周辺、安岐海岸で清掃作業に取り組みました。

5月1日から国体の終了までの毎週土・日曜日の午前7時から3時間ほどかけて、海岸に打ち上げられた流木やゴミの回収や草刈作業を行ってきました。

吉水会長は「大分県の空の玄関である大分空港をきれいにし“日本一きれいな空港、ホーバーのあるまち”をめざして、11人の区長さんと一緒に取り組みました。全国から訪れる選手・役員の皆さんを気持ちよく迎えることができ、良かったです」と話してくれました。

